

愛川町教育委員会

平成23年12月26日

愛川町教育委員会 12月定例会会議録

- 1 会議日程 平成23年12月26日（月）
午後2時00分から午後2時54分
- 2 会議場所 愛川町役場2階201会議室
- 3 議事日程 日程第1 会期の決定について
日程第2 前回会議録の承認について
日程第3 教育長報告事項について
 (1) 教育長報告事項
 (2) 平成23年第4回議会定例会について
 (3) 平成23年度学校教育関係研修事業評価について
 (4) その他
日程第4 その他
 (1) 愛川町一周駅伝競走大会及びミニ駅伝競走大会について
 (2) 平成24年愛川町成人式について
- 4 出席委員 教育委員長 平田明美
 委員長職務代理者 榮利隆一
 教育委員 足立原 威
 教育委員 岡本弘之
 教育長 熊坂直美
- 5 欠席委員 なし
- 6 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者
 教育次長 河内健二
 教育総務課長 熊坂祐二
 生涯学習課長 大八木 尚一

スポーツ・文化振興課長

近藤 史朗

指導室指導主事

高山 真一

教育総務課副主幹

井上 守

◎開会

- （平田委員長） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席委員は5人です。定足数に達しておりますので、12月愛川町教育委員会定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより日程に入ります。

◎日程第1

- （平田委員長） 日程第1、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期であります。本日1日と定めたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （平田委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第2

- （平田委員長） 次に、日程第2、前回会議録の承認についてを議題といたします。

会議録につきましては、既に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。ご意見、ご質疑がありましたらお願いいたします。

ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

- （平田委員長） ご異議ないようなので、日程第2、前回会議録の承認については原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

◎日程第3

○（平田委員長） 次に、日程第3、教育長報告事項についてを議題といたします。

初めに、（1）教育長報告事項の説明をお願いいたします。

—教育長より詳細について説明—

○（平田委員長） 説明ありがとうございました。

これより質疑に入ります。

（1）の教育長報告事項について、何かお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。ございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○（平田委員長） 質疑がありませんので、質疑を終結したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（平田委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第3、（1）教育長報告事項については、教育長報告のとおりご承認願います。

次に、（2）平成23年第4回議会定例会についての説明をお願いいたします。

—教育長より詳細について説明—

○（平田委員長） 説明ありがとうございました。

これより質疑に入ります。

（2）の平成23年第4回町議会定例会について、お聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。何かご質問はありますか。ございませんでしょうか。

岡本委員。

○（岡本委員） 玉利議員が言っている学力強化についてでございますけれども、この質問は、今度高等学校の入学試験が変わりますよね。いわゆる従来のいろいろな調査書的なものから学力一本になりますよね、今度は。その辺のところを踏まえての質問なんですかね。

○（熊坂教育長） 質疑をやりとりしていきまして、はっきりしないところもございました。変な話なんですけど、再質問の中でもいきなり「教員は多忙じゃないか」というようなことが出

てきたり、そんな話もありまして、ちょっと焦点がわかりにくかったところがございます。

○（平田委員長） 足立原委員。

○（足立原委員） 井出議員の子育て支援についての質問で、2つ目の内容については、既に井出議員は新人議員ではないので、今までの経過をわかってはいるわけなんですけれども、さらにこの質問をしているということは、事前の調整の中で了解ができなかったのですか。

○（熊坂教育長） たまたま厚木市がこの名前で、ここで相川地区で始めるというのが新聞記事になりましたので、そのことをもとに質問をされたようでございます。お話しして、理解はいただいたんですが、放課後子供教室というのは、内容的には狭くは考えていなくて、かなり弾力的な取り組みをこの事業で網羅をしてもらっているということがございます。ただ、愛川町でやっております「かわせみ広場」がこのことに該当するというので、補助金をいただいているんですが、欲を言えばその中でもう少し充実したほうがいい内容もございます。その内容は学習面のところが余り本町ではございません。ですから、ボランティア等がいて、子どもが勉強をしたいというときに、週1回でもいいですから、見てもらえるようなシステムが組み込めるとさらにいいのかなということは思っております。

以上でございます。

○（岡本委員） わかりました。

○（平田委員長） ほかにありませんか。

○（岡本委員） 愛川中学が3学期制に戻るということで、新聞にも報道されていましてけれども、これは6年間実施をしてきた中で、総括というか、まとめというか、それは町としても中学校側と連携をとって、当然国のほうへ報告されると思うんですけども、そういったものがどのような形で、町として総括されるのか。指定を受け入れたわけですよね。ですから、当然報告をすることにあると思いますが、そういったところはどうにされるかというのが1点と、もう一つは、この指定を受けたのは神奈川県で何校ぐらいあったのですか。

○（熊坂教育長） この研究指定でございますが、実を申しますと、愛川町独自の自主研究応募校というのがございまして、国とか、県の指定を受けた内容ではなくて、愛川町独自の中で行った研究指定でございます。ちょうど研究指定が始まる時は、2学期制というのが大分話題になっておりまして、1年ぐらいかけてまず下準備をされて研究に取り組みされたわけでございます。

その流れの中で、これは県央地区全体を見ますと、ほとんどが2学期制に移行する動きがなかったと。そうなりますと、いろいろな対外的な行事を考えたときに、どうしても今

までどおりの3学期制の中で動いていきますので、2学期制で行っていると、若干それとのがずれが出てきますので、そういう面ではやりにくかった部分があったと思います。2学期制にした関係で、時間数を確保するのは、学期末が少なくなっていますから、確保はしやすかったことは事実でございます。ただ反面、評価をするのが年に2回になりますので、細かい部分で子供の変化を見るにはややまずかったと、そういうふうなことがございます。そういうような中で、6年間を総括するなら、実は昨年度の段階で今年1年をかけて見直しを検討しますということが前段として言われておりました。今年度見直しをしていく中で、来年度、この県央地区に合った形の3学期制に戻しましょうということを学校でもまとめられ、教育委員会には報告がございました。保護者等の理解も得ていかなければいけませんので、学校で保護者に対しての説明会もされまして、そこでは特に反対の意見はなかったというふうにお聞きをいたしております。

- （岡本委員） ちょっと聞いたのは、指定になっているような説明だったので、当然国とかだったら、それに裏づけの予算とか、当然ついて、指定には必ずきますよね。今のお話だと町でということですから、町で特にこの愛川中学に対して、この研究について予算的な裏づけとか、そういうのを特に取って、研究が成果を上げるような形で取り組んでこられたのですかね。
- （熊坂教育長） 最初の2年は町の研究指定というようなことで、若干研究費の上乗せをいたしました。2年間たちまして、このまま続けていきたいというお話がございましたので、学校の管理運営規則をそれに合った形にしなければいけないということで、2学期制をとることもできるというような内容を盛り込みまして、3年以降は指定という形ではなくて、実質的には愛川中学校は2学期制でずっとやる、そういう形できたわけでございます。そういう中で、周りのそういう状況があったりしまして、ここで立て直してもとに戻すということになったわけでございます。
- （足立原委員） 教育長がご在籍になってからの愛中の対応なわけですがけれども、あのころはちょうど2学期制ということが大分話題になりまして、特に私立なんかでは2学期制を現在とっている学校もあるわけですが、そういう時期でありまして、生徒指導がここで愛中の場合は若干昨年あたりから話題になりまして、そういうものも考慮の中で、もう一度今の学校の管理者もかわってきてますから、見直しをされたということだと思えるんですけども、教育長の評価としてどうだったのでしょうか、この五、六年間の。
- （熊坂教育長） 良い面もありますし、やはり周りと合わせるということも大事だということ

とで、そろそろもとに戻すのかなということも考えてございました。校長先生にしますと、最初、研究指定を始められたときから今の校長先生で4代目になっております。そんな点で、いろいろ諸般の事情を考え、もとに戻すと。一つの大きな理由は、ここでやはり高校の入学者選抜が変わると。研究を始めた当初も、先ほどお話ししました2回の評価しか出てこないということで、親御さんも子供たちの進路を決定していくのにやや資料不足だという話はございました。そういったことも踏まえてのもとへ戻すということであるんじゃないかなと、思っております。

- （岡本委員） 一つの新しい試みで、せっかくやって、いい方向に出て、こういう形が引き続きやっていけるというような成果が出たらよかったですけれども、結局こういう結果になるということはやっぱり無理があると、いろいろな面でこういう結論に達したわけですよ、変えるということは。要するにやめるということは。その辺が難しい点ですけれども、約6年間ですか、やったわけですから、その結果が、ただ今までわかっているような課題点だけでやめちゃうのはちょっと何か残念なような、いろいろな部活動とか、そういうのはわかっていたわけですよ、違う時点でみんな。そういう中であえて研究したということは、その辺のところを穴埋めをして、うまくそういう形ができるというようなことで指定をやったことかのかなという感じがしたもので、その辺が結局この結果を見ると、6年間は何だったんだろうというような思いがして、残念だなという気がしたものでお聞きいたしました。
- 以上です。

- （平田委員長） 私のほうからよろしいでしょうか。保護者の方たちにこれから説明されると思うんですけれども、かなりいろいろなことをご説明されると思うんですが、その辺はいかがなんでしょうか。
- （熊坂教育長） 既に説明会はされました。特に異論はなかったという報告を受けています。
- （平田委員長） 保護者のほうとしましたら、どちらかという、2学期制より3学期制のほうがよかったのかなというような声をちょっと聞きましたですけれども、やはり一つのテストという言い方をしたらおかしいですけれども、町内3校の中学校の中で、1校だけの愛川中学校が2学期制を導入した。それを廃止にしたわけですから、結論としてはそういう形になってしまう。その辺はやはり保護者の方たちの思いというのはあるんじゃないかと思えます。

ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○（平田委員長） では、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（平田委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第3、（2）平成23年第4回町議会定例会については、報告のとおりご承認願います。

次に、（3）平成23年度学校教育関係研修事業評価についての説明をお願いいたします。

—指導室指導主事より詳細について説明—

○（平田委員長） 説明ありがとうございました。

これより質疑に入ります。

（3）の平成23年度学校教育関係研修事業評価について、お聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

○（榮利委員） この教育開発センター関係事業等の評価の期間というのは、いつからいつなんでしょうか。

○（高山指導室指導主事） こちらのものを学校に11月にお渡ししまして、12月初旬に集めたものなんですけれども。

○（榮利委員） 対象年度は23年の4月から。

○（高山指導室指導主事） 23年の4月からです。

○（榮利委員） いつまで。

○（高山指導室指導主事） ですから、11月までです。

○（榮利委員） 残された期間のやつはまた出るんですか。

○（高山指導室指導主事） 基本は出ないです。

○（榮利委員） それはいつ出るんですか。

○（高山指導室指導主事） 今まではもうこの段階で教務さんとの会議の中で、この研修事業の評価の説明をさせていただいて、来年度の準備をしなければなりませんので、評価について12月から3月までについての取りまとめは特に行っておりません。教育課程につなげる意味で各学校の中ではやっておりますけれども。

○（榮利委員） このクエスチョンマークは評価の中では、どういうふうを考えるんですか。

○（高山指導室指導主事） クエスチョンマーク、例えば1ページ目の2番の「魅力ある学校づくり検討委員会」のところにつきましては、12月13日と2月20日ということで、まだ行わ

れていないとか、またキャリア教育の委員会につきましても、こちらは会議を行っておりませんので評価のしようがないと。そういうような形で、まず時期的な部分で行われていないところについてはクエスチョンマークをつけています。

- （平田委員長） 榮利委員、よろしいですか。
- （榮利委員） 教育委員会の評価、報告という話を前回したのですが、愛川町はまだやっていないんですけれども、それについてどうしようかなという話を今後していくという中で、教育開発センターだけが評価を出したということに対しては、教育長はどのように考えておられますか。
- （熊坂教育長） これは評価をもうかなり前から、制度化される前から行っております。一番指導室としてメインには教員の研修等、よりよいものを組みたいということで、私が来る前から実は評価が行われております。来年度に向けてどういう内容のものを組むかという、そういうのに使うために振り出しております。これがもとになりまして、来年度の愛川の教育の研修計画として生かしていこうと、そういうことでこの段階で取りまとめをいたしております。

例えば、一番表のクエスチョンマークがついているところでございますが、教務担当の研修事業等の計画については、かなり事務的な要因なんですね。来年度の研修計画のカレンダーが出てきまして、学校で行事を組むときにかち合わないようにしてほしいとか、そういう形の事務的な内容が結構多いわけでございます。

それから、キャリア教育のほうは、各学校で子供等のアンケートがとられまして、そのまとめは今年度の終わりから来年度の初めにかけて、今年度のキャリア教育の基本は職場体験であります、その評価は別な形で出てまいります。

それから、4つ目の教育研究グループ、これは報告が3月に上がってきますので、4月以降にならないとそのまとめができにくい部分がございます。そのように来年度の計画をしていく上にこれをしているということで、若干すべてが網羅されて評価ができないという欠点はございます。

以上でございます。

- （平田委員長） よろしいでしょうか。
- （榮利委員） 皆さんのとらえ方は私が思っていたのと違うので、教育センターとして24年度に向けて各活動に対してどういう反響、どういう意見があったので、24年度はこうしていきたいんだという話ですか。

- （高山指導室指導主事）　そういうことです。
- （榮利委員）　それが評価という形でいいんですかという話なんですけれども。
- （高山指導室指導主事）　今回、確におっしゃられるように、評価とこの下に必ず計画が1セットになっていて、本来ならばそれも1セットにしながらご説明するのが筋ではあるというふうに思っています。もちろんこれを生かした形で、次回、計画のほうの説明をさせていただきたいと思います。これを受けてのこういう計画にして今動いております。
- （平田委員長）　よろしいでしょうか。

ほかにありませんか。

（発言する者なし）

- （平田委員長）　ほかに質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （平田委員長）　ご異議ないものと認めます。
よって、（3）平成23年度学校教育関係研修事業評価については、報告のとおりご承認願います。
次に、（4）その他でございますが、各委員より報告や事項、何かご意見などがありましたらご発言をお願いいたします。
ございませんか。

（発言する者なし）

- （平田委員長）　では、ありませんので、事務局から何かございますか。
- （井上教育総務課副主幹）　特にありません。
- （平田委員長）　特にご意見等もないようですので、日程第3、教育長報告事項については以上とさせていただきます。

◎日程第4

- （平田委員長）　次に、日程第4、その他、（1）愛川町一周駅伝競走大会及びミニ駅伝競走大会についての説明をお願いいたします。
- （近藤スポーツ・文化振興課長）　それでは、資料4をご覧ください。
第57回愛川町一周駅伝競走大会及びミニ駅伝競走大会について説明をさせていただきます。
要項の1ページをご覧ください。期日は平成24年1月8日日曜日、午前10時の三増公園陸

上競技場で開催します。荒天の場合は中止となります。開会式は午前9時5分からでございますので、よろしくお願いいたします。なお、コースにつきましては、今回変更はございません。

次に、参加チームでございますが、行政区の1部は26チーム、2部の町内在住・在勤チームにつきましては18チーム、合計44チーム。昨年より1チーム増えてございます。

次に、選手の参加状況でございますが、全体では441人。中学生の参加状況でございますが、1部の行政区チームでは68人、2部では5人の合計73人の参加を予定しています。

次に、ミニ駅伝競走大会でございますが、町一周駅伝競走大会スタート後に、今回もスポーツ少年団により開催をいたします。参加チームは11チーム、参加児童は124人でございます。

町一周駅伝競走大会における役割でございますが、平田委員長にはスターター、榮利委員長職務代理にはミニ駅伝競走大会のスターターをお願いしたいと存じます。

なお、午前11時からミニ駅伝の閉会式を開催しますが、平田委員長には賞状の授与をお願いいたします。

また、駐車券でございますが、本日お渡ししますので、大会当日はダッシュボード前に置いていただくようにお願いします。

説明は以上でございます。

○（平田委員長） 説明は以上でございました。

これより質疑に入ります。（1）愛川町一周駅伝競走大会及びミニ駅伝競走大会について、お聞きしたいところなどありましたらお願いいたします。

では、私のほうから。スターターのピストル、音が出るように事前調整をよろしくお願いいたします。去年なんですが、鳴らなかったんですよ。小さく切り過ぎてしまって。

その辺はよろしくお願いいたします。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） 確認しておきます。

○（平田委員長） 他にありませんか。

（発言する者なし）

○（平田委員長） では、ないようなのでありますので、（1）愛川町一周駅伝競走大会及びミニ駅伝競走大会については、ご報告のとおりご承知願います。

次に、（2）平成24年愛川町成人式についての説明をお願いいたします。

○（大八木生涯学習課長） それでは、資料5の平成24年愛川町成人式についてご説明申し上げ

げます。資料をご覧ください。

成人式につきましては、5月の定例会におきまして要項のご説明をさせていただきました。その内容どおり、日時は1月8日日曜日、午後2時開会となっております。今年度も実行委員を募集いたしまして、1枚あけていただきますと中側の、右側の下に愛川町成人式実行委員会ということで、二十歳の成人者が、これを仕切るという形になってございます。

当日は2時前に来ていただいて、応接室が控室になっていますので、そちらで休んでいただいて、2時から一部が式典です。二部がアトラクションということで、大体一部が20分から30分の予定、大体20分ぐらいですかね。二部が14時30分からというような予定になっております。全体では最終は16時、4時ごろになろうかなということでございます。

なお、当日、1枚、A4で横版の配置図をつけさせていただきました。こちらに椅子をセットしていますので、当日は、私のほうでご案内申し上げますので、ご承知おき願いたいと思います。委員長にはごあいさつをお願いいたします。

あとは例年どおりでございますので、当日は駅伝に引き続きということになりますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

説明は以上でござひます。

○（平田委員長） 説明ありがとうございました。

これより質疑に入ります。

（2）の平成24年愛川町成人式について、お聞きしたいところなどがありましたら、お願いいたします。

（発言する者なし）

○（平田委員長） よろしいですか。

○（岡本委員） 本年度、対象者はわかるんですか、何人ぐらいなんですか。

○（大八木生涯学習課長） 約420人。昨年が475人ですから、随分減っております。

以上であります。

○（平田委員長） ありがとうございます。

よろしいですか。ございませんか。

ほかにないようでありますので、（2）の平成24年愛川町成人式については、報告のとおりご承知願ひます。

以上で本日の議事日程が終了いたしましたので、12月定例会を閉会したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○(平田委員長) ご異議ないものと認めます。

よって、12月定例会を閉会いたします。長時間にわたり大変ご苦労さまでございました。